

新市立病院の **気になる** にお答えします



5年後の開院に向けて動き出している新市立病院ですが、「どんな病院になるの?」と気になっているかたも多いのでは? そんな皆さんの「気になる」を集めました。



新市立病院では どんな医療を提供しますか

新市立病院が担う医療の分野には「高度・急性期医療」「救命救急医療(24時間365日の医療体制)」「周産期医療(安全な出産、新生児期の医療)」があります。新市立病院では、このような民間では困難な領域の医療に取り組むことで、市民の皆さんの命を守ります。

また、脳神経外科を新設して、三大死因である脳卒中・心筋梗塞・がんなど、治療や診断が困難な症例の対応を充実させます。

特に、脳神経外科が新設されることで、これまで市民病院の小児科や産婦人科、外科だけでは対応できなかった「小児の転落事故」や「妊婦の脳卒中」、「交通事故などで頭部を強打した場合」などにも対応ができるようになります。



新市立病院の特徴は何ですか

現在、市民病院は「地域医療支援病院」

医師の確保はできますか

新市立病院では、「救命救急センター」や、「脳神経外科」を新設するため、新しく医師の確保が必要になります。全国的に医師不足がさげばれています。が、長崎大学に支援・協力をお願いするほか、県外からの医師の招聘や、若手医師の県外流出を防ぐ方策などについて、検討を進めていきます。

なぜ2つの病院を 統合するのですか

現在、市民病院は南部地区の基幹病院として高度な医療などを提供し、成人病センターは内科を中心に感染症や透析、心臓血管外科などの医療を提供しています。

施設の老朽化が進むなか、同じ市立病院として、医療資源を集約することで、より質の高い、さまざまなケースに対応できる医療サービスを提供するため統合を行います。

新市立病院の建設工期は、2期(平成25年度:本館完成、平成27年度:別館完成)に分かれています。成人病センターは、遅くとも第2期工事が完成する平成27年度までに、新市立病院に統合する予

として、患者の皆さんのかかりつけ医療機関と連携し、紹介患者を中心に、外来や入院を受け付けています。新市立病院では、この機能をさらに充実させていきます。

例えば、患者のかたは、通常かかりつけ医療機関に通い、症状が悪化したときに、高度医療を提供する新市立病院で治療を受けます。治療が終わった後は、リハビリ治療や、療養型の病院で治療を受け、最終的に、かかりつけ医療機関に戻ります。

このように、治療から回復までの一連の流れをつくるため、新市立病院を核とした、地域の医療機関とのネットワークを構築し、医療に対する安心感を生みだしていきます。

また、一連の流れを維持するために、新市立病院に移行したあとも、今の市民病院と同様に、緊急患者などを除き、一般外来には原則として、かかりつけ医療機関からの紹介が必要になります。

救命救急センターは どんな機関ですか

24時間365日体制で、すべての救急患者に高度な医療を行う施設です。現在、市民病院は、輪番病院として、4日に1回、入院や手術を要する重症な救急患者を24時間体制で受け入れています。新市立病院に専用の病床や集中治療室を備

周産期医療とは どういったものですか

周産期とは、妊娠後期から新生児早期までの、母子とも異常が起こりやすい時期のことです。妊婦を襲う合併症や未熟児・新生児の命にかかわる病態などに対応できるように、母体胎児集中治療室(MFICU)を新設し、新生児集中治療室(NICU)を増床することで、産科・小児科の双方による総合的な医療体制を整えます。



建設中も 入院や外来受診はできますか

建設の詳細設計などは、これから調整を進めていきます。新市立病院の建設工事の間中も、市民の皆さんの通院や受診に影響が少ないように努めていきます。

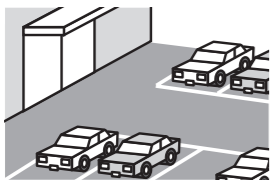
病床数は足りませんか

現在の病床数は市民病院が414床、成人病センターが176床で合計590床です。

新市立病院は506床を予定していますが、84床減ることになります。地域の医療機関との連携を強化することで、病床数は十分足りると思っています。

駐車場は広くなりますか

現在の市民病院には85台の駐車スペースがありますが、電停やバス停も目の前にあり、公共交通機関での来院が便利な場所にあります。



経営は大丈夫ですか

病院は、国が定める診療報酬に基づき、医療費を患者の皆さんに請求することによって収入を得ています。

新市立病院の建設(建設、現病院の解体、医療機器の整備など)には、多額の費用が必要になります。一方、新市立病院の医療収入などを見込んで試算すると、開院当初は減価償却や借入金返済もあり数年間は赤字(ただし現金収支は黒字)が続きます。その後は黒字へと転じていく予定です。

将来にわたって継続して皆さんに医療を提供していくため、安定した経営ができるよう職員一丸となって取り組んでいきます。

